

多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業
地域リーダー研修

地域における介護支援専門員の 役割について

愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会

介護保険制度の要(専門職)

1. 介護支援専門員(ケアマネジャー)とは？
2. 介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格要件は？
3. 介護支援専門員(ケアマネジャー)の配置場所？
4. 介護支援専門員(ケアマネジャー)の業務は？
5. 介護支援専門員の現状の課題
6. 介護支援専門員に求められる専門性(ケアマネジメントの重要性) 役割について
7. 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会の紹介

1・介護支援専門員とは

介護保険制度のスタートと同時に作られた
専門職

- 要介護者等が、介護サービスを必要とするとき、
連携調整を行う者
- 保健・医療・介護・福祉等多職種協働の推進
- 施設・居宅・医療・介護間のシームレスなケアマネジメント
- 要介護者が自立した日常生活を営むのに必要な
援助に関する専門的知識と技術を有する者

2・介護支援専門員の資格要件とは？

- 1) 医師，歯科医師，薬剤師，保健師，助産師，看護師，准看護師，理学療法士，作業療法士，社会福祉士，介護福祉士，視能訓練士，義肢装具士，歯科衛生士，言語聴覚士，あん摩マッサージ指圧師，はり師，きゅう師，柔道整復師，栄養士(管理栄養士を含む。)又は精神保健福祉士
- 2) 介護支援専門員として任用されるには都道府県の実施する「介護支援専門員実務研修」を受講し登録する必要がある。
- 3) 研修を受講するために「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格しなければならない。
- 4) 受験資格には上記の法定資格などで5年以上の実務経験が必要とされる。

介護支援専門員の資格



3・介護支援専門員の配置場所

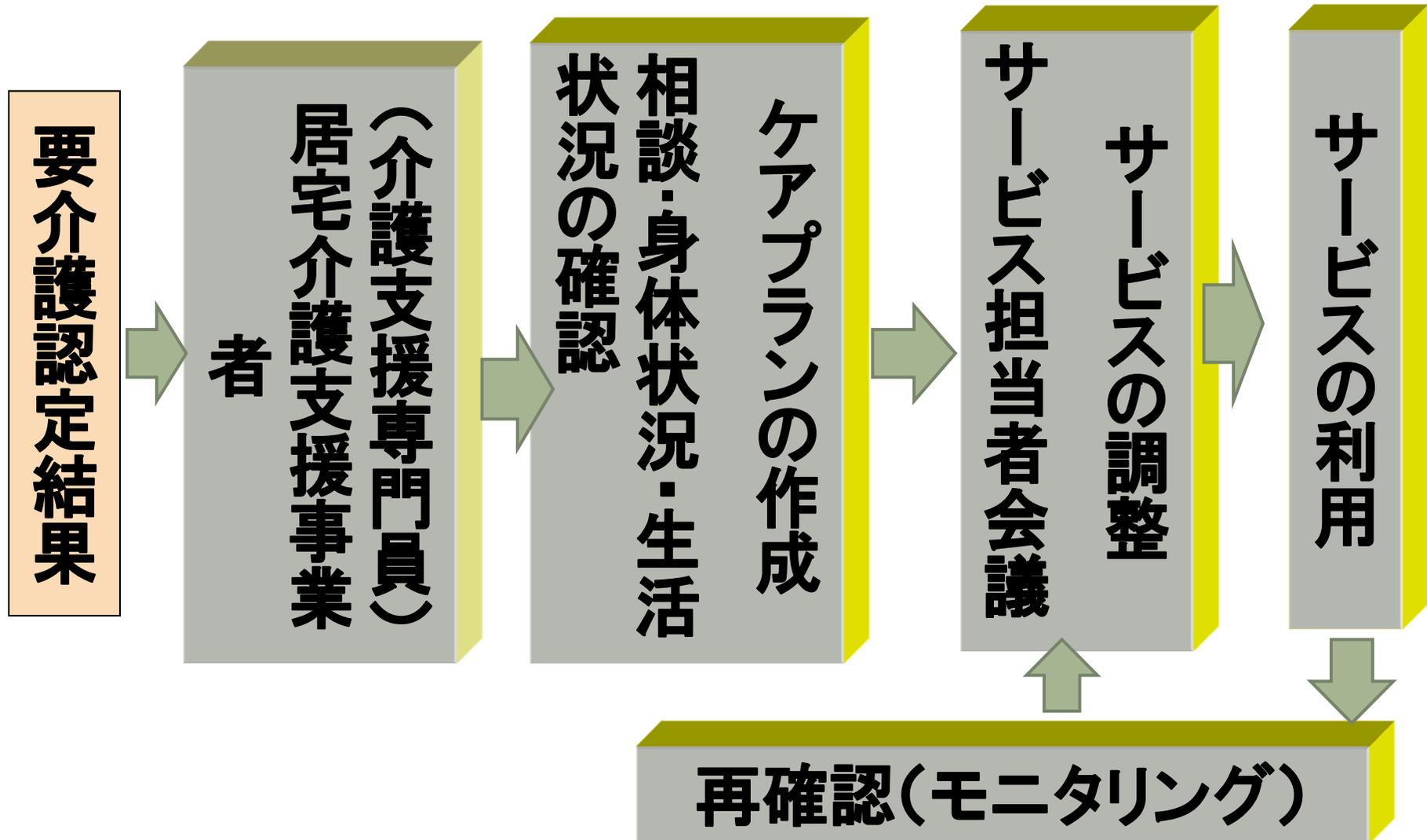
- **居宅介護支援事業所**(介護支援専門員を配置しているサービス事業所)
特定居宅介護支援事業所(主任介護支援専門員を配置)24時間相談体制
- **地域包括支援センター**(主任介護支援専門員)
- **介護保険施設**(介護老人福祉施設等)
- **地域密着型事業**(小規模多機能型居宅介護・グループホーム等)
- **特定施設入所者生活介護・各施設等**

4・介護支援専門員の仕事は？

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う職業。

介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理等を行う。

安心して介護サービスを利用して 生活を継続していくために



介護支援専門員の仕事内容は？

- 介護を必要とする方や家族からの相談に応じたりアドバイスをします。
- 申請の手続きや更新の代行をします。
- 利用者の希望にそったケアプランを作成します。
- サービス事業者との連絡調整をします。
- 利用者の心身の状況の変化を把握し、必要に応じてケアプランの見直しを行います



5・介護支援専門員の現状の課題

個人差が
大きい

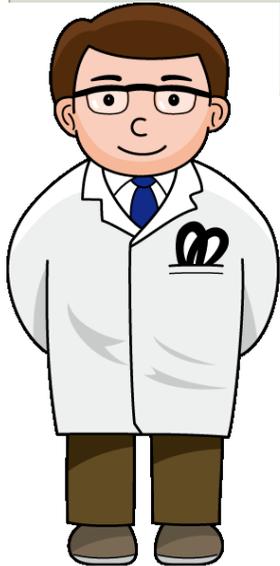


チームケアにおける課題

福祉職(介護
福祉士)が約8
0%⇒医療職
は年々減少

医療職と
の連携が
難しい

チームケア・
ネットワークづく
り



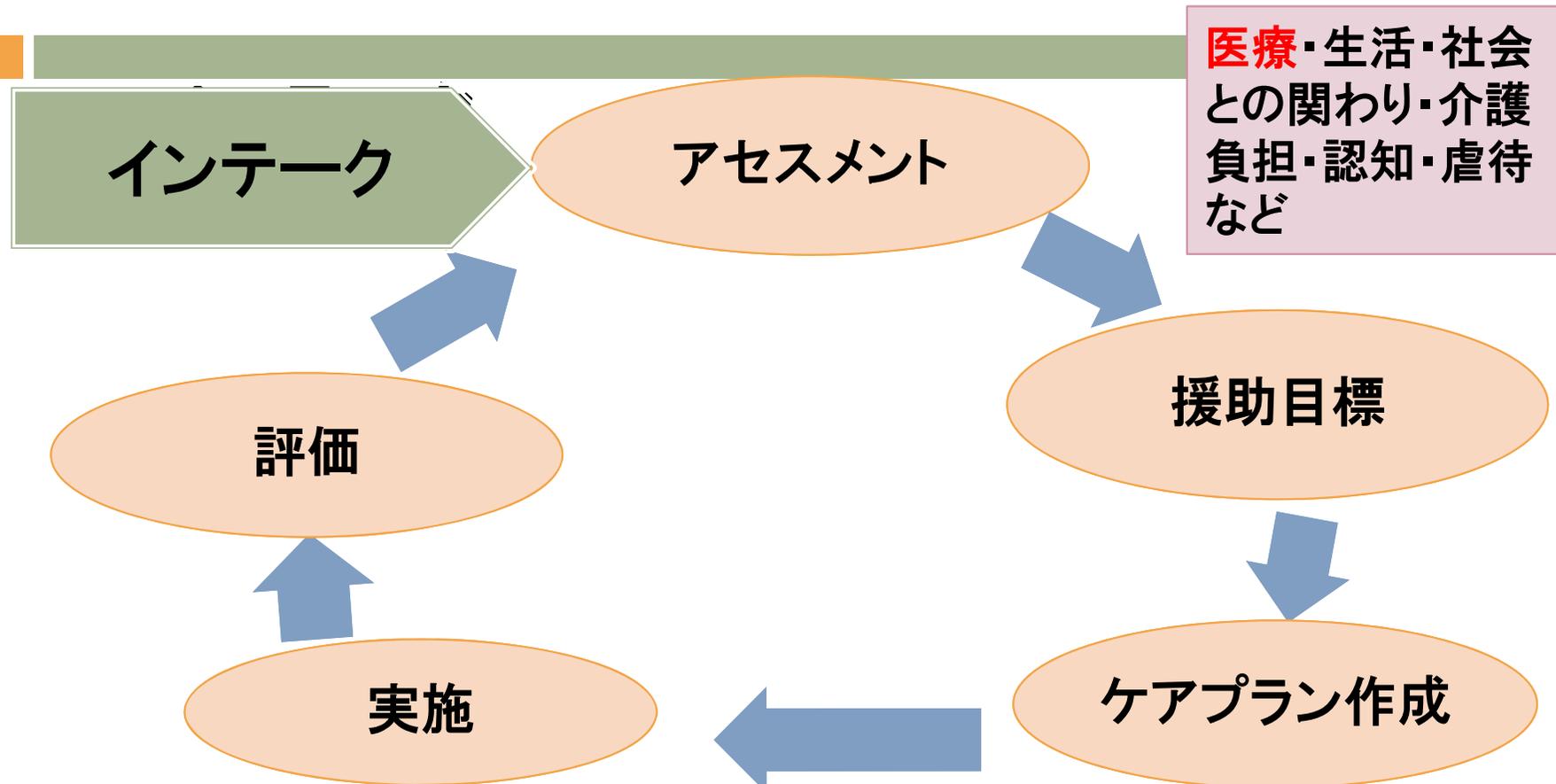
専門職の能力⇒ケアマネジメント能力(アセスメント能力)の向上

6・介護支援専門員に求められる専門性

利用者・家族の望む生活の
実現に向けてケアマネジメントを実
践すること

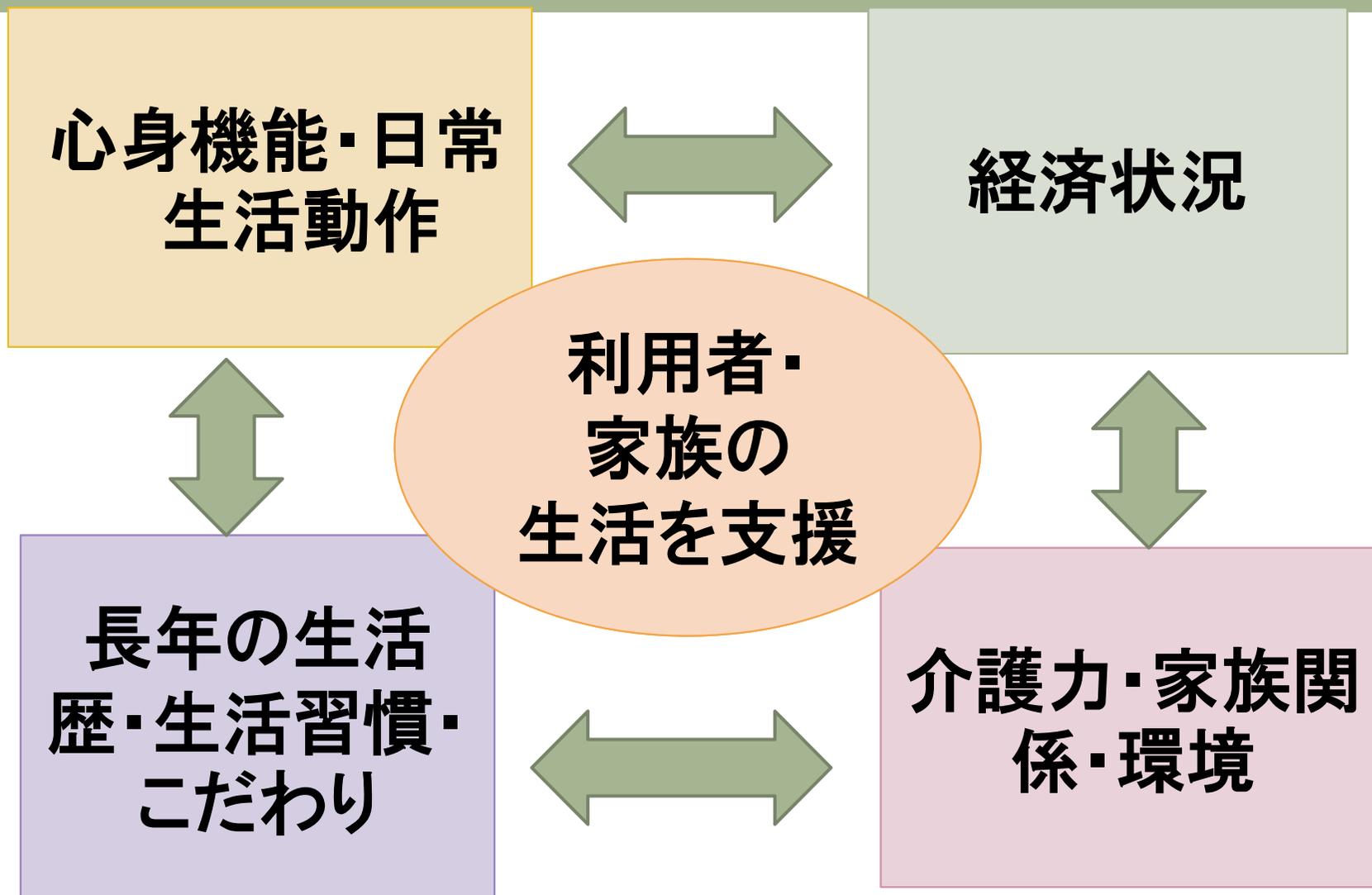


ケアマネジメントの過程

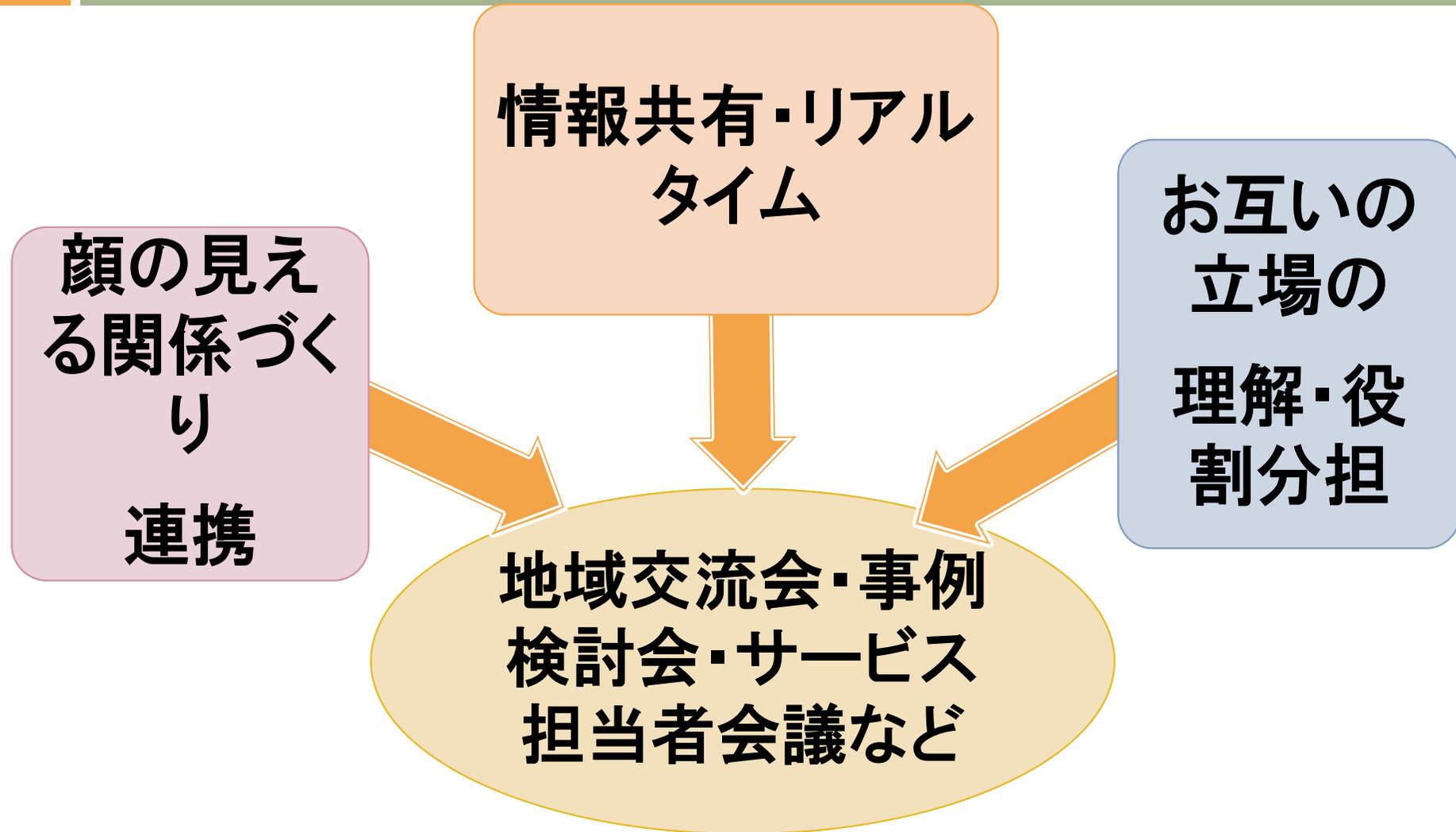


様々な専門職領域を超えた生活課題を総合的に把握し。課題解決に向けて具体的達成目標を定め、計画的にチームでアプローチする方法⇒チームマネジメントが重要

「望む生活の実現」に向けて支援



地域のネットワークづくり



今後の地域包括ケアシステムに向けての課題

- 住み慣れた地域(日常生活圏域)で、必要な医療・介護サービス等を継続的。一体的に受けられる体制の構築(地域包括ケアシステム)をするためには、医療と介護連携は必要不可欠
- 今後、医療の必要度が高いケースが増加する。在宅療養生活を支援する為には、医療と介護の役割分担と連携の強化が課題
- 各市町村・地域包括支援センターが、医療側と介護側の双方を調整。連携に向けた拠点への取り組み。多職種連携に向けた、地域ケア会議の開催。

地域ケア会議の目的

ニーズの多様化により支援困難ケースが増大

事業所内で個別のケース検討会

多職種連携

利用者・主治医を含めたサービス担当者会議

地域全体の課題
地域ケア会議へと発展

地域支援体制の構築

チームケアー(医療・介護)の推進

- 医療連携に必要な介護支援専門員の意識やスキル
- 医療研修の必要性
- 医療サービスの円滑な導入
- 医療連携の手法や医療へつなぐ気づき疾患のアセスメント力
- 医療連携のための「橋渡し」「サービス調整力」「コミュニケーション力」
- 多職種を交えた事例検討会開催

医療職(医師)に望むこと

- チームケアの重要性を理解していただき、メンバーとして共通認識をいかに育てるかという視点を持ってほしい。
- 在宅療養にかかわる医師は、利用者生活全体やそれを支えるチーム全体のリーダーとして自立支援に向けた主治医としての役割を果たしてほしい。
- 主治医(医師)の方々に介護保険制度・介護支援専門員への理解がほしい。

結論

- **地域包括ケアシステム構築のためには、個々の介護支援専門員の自立支援に向けた適切なケアマネジメンツの実践が重要。**
- **自立支援を目指すケアマネジメンツは、多職種・多機関の連携や地域における多種多様な社会資源のコーディネートやネットワークを構築した、地域づくりが不可欠である。**

7・愛知県居宅介護支援事業者 連絡協議会のご紹介

- 愛知県内の居宅介護支援事業者が、より質の高い適切な介護サービスを提供できる環境づくりを図ることにより、介護保険制度の円滑な運用に資することを目的とする。

1.情報交換(行政と事業者、事業者間)

2.資質の向上(介護支援専門員等の教育、研修)

3.サービスのレベルアップ(事業者の連携、情報交換による質の向上)

☆介護保険の開始とともに発足された事業者の団体です

ご清聴ありがとうございました

